

県民意見聴取結果（速報）

○意見聴取対象及び調査日

明日の地域づくり委員会	県北地域	（出席者 21 名）	平成 22 年 1 月 29 日（金）
	県央地域	（出席者 21 名）	平成 22 年 1 月 25 日（月）
	鹿行地域	（出席者 29 名）	平成 22 年 1 月 28 日（木）
	県南地域	（出席者 24 名）	平成 22 年 1 月 20 日（水）
	県西地域	（出席者 15 名）	平成 22 年 1 月 27 日（水）
明日の茨城を考える女性フォーラム		（出席者 29 名）	平成 22 年 1 月 26 日（火）
いばらき青年懇話会		（出席者 11 名）	平成 22 年 1 月 30 日（土）

計 150 名 / 7 回

○意見聴取結果の概要

1 総合計画策定全般の意見

- ・ 現行計画を十分検証したうえで、新しい計画を策定して欲しい。
- ・ 総合計画を含め県政に関する情報が、県民に十分伝わっていない。
- ・ 25 年先を想定したうえで、5 カ年計画を策定するのはよい。
- ・ 現行計画の重点施策が 8 つでは多い。もっと絞り込んだ計画を望む。
- ・ 目標数値の根拠を明確にし、目標達成できるような計画策定をして欲しい。
一方、指標や全国順位に現れない事象もあるので、とらわれすぎないで欲しい。
- ・ 規制緩和を行い、民間活力を活かした県政運営が必要。
- ・ 縦割り行政ではなく、横との連携強化を図って欲しい。

2 活力あるいばらきづくり

【雇用】

- ・ 雇用創出や雇用安定など雇用環境の改善や支援が必要。

【観光】

- ・ 観光資源など、市町村が誇れる資源の活用が必要。
- ・ 地域特産品による観光客誘致が必要。
- ・ グリーンツーリズムの積極的推進。

【地場産業】

- ・ 研究開発を行っている企業への支援が必要。
- ・ 産学連携のつなぎ役としての役割を県に望む。

【商店街の活性化】

- ・郊外型商店の影響で商店街の活気がなくなった。地域活性化対策が必要。

【農林水産業】

- ・耕作放棄地が増加しており、農業の法人化や企業との連携などにより、農地を必要とする者が利用できるような対策が必要。
- ・農業の担い手不足が問題。若者が農業に従事できる就農支援が必要。

【広域交通】

- ・茨城空港の必要性が県民に伝わっていない。
- ・茨城空港の活用方法について、修学旅行や観光など積極的な取り組みが必要。
- ・茨城空港の先行きが不安、赤字が予想され廃港も視野に。
- ・高速道路を整備して欲しい。しかし、その周辺住民や商業への悪影響も懸念。
- ・つくばエクスプレスの水戸、茨城空港への延伸を望む。

3 住みよいいばらきづくり

【コミュニティ】

- ・団塊の世代が地域コミュニティに入っていない。
- ・既存の組織に入らない人が増加している。
- ・世代間交流やお年寄りが交流できる場の創設が必要。

【情報化】

- ・IT関係が全国的に遅れている。
- ・ローカルテレビが無いので、開局して県内情報の発信をして欲しい。

【少子化】

- ・出産後に再就職できる体制を整えて欲しい。
- ・保育所の待機児童を減らして欲しい。
- ・子育てに悩む人の手助けとなる地域コミュニティが必要。
- ・産科医が少ないので、産科情報の提供をして欲しい。
- ・ワークライフバランスの意識醸成と企業の理解促進が必要。

【医療・介護】

- ・医師など医療従事者の確保と医療の地域的偏在と診療科目の偏在の解消を望む。
- ・皆、健康で生活でき医療費を抑えるため、定期健康診断の推進が必要。
- ・県際地域では、他県の医療・福祉施設に依存しており、医療施設の充実が必要。
- ・若い介護ヘルパーは賃金が安く辞めてしまうので、若い介護士の確保対策を望む。
- ・介護保険の認定基準が、市町村によって差がみられ、その解消が必要。
- ・高齢者の介護施設の充実と十分な施設数の確保が必要。
- ・救急医療の受け入れ態勢の整備が必要。

【高齢者】

- ・元気な高齢者をボランティア活動などに積極的に活用し、地域で活躍できる仕組みづくりが必要。
- ・経験豊かな高齢者から、古き良き伝統や技術を学び、継承する場づくりが必要。
- ・高齢者が寝たきりや認知症にならないための情報提供をして欲しい。

【障害児・者】

- ・様々な場面で、障害者が参画できる社会づくりが必要。
- ・知的障害者や情緒面に問題のある子どもを対象とした施設や人員の確保が必要。

【環境保全】

- ・家族単位で取り組める環境対策の情報提供を望む。
- ・森林湖沼税に対する県民の認知度向上と、霞ヶ浦の浄化の一層の推進を望む。
- ・ごみの不法投棄対策として、住民や警察とのネットワークの推進が必要。

【公共交通】

- ・県民の足となる公共交通の確保が必要。

4 人が輝くいばらき

【学校教育】

- ・規模の小さい小学校の統廃合を促進して欲しい。一方、統廃合により地域住民との関わり合いが薄れることが懸念される。
- ・先生の児童生徒への言葉遣いなどレベルの低下や地域間格差がみられるので、質の向上を望む。
- ・特別な支援を必要とする児童が増加しており、教員にゆとりが無く、少人数制や教員の増員が必要。
- ・教育内容に、伝統文化や農業に関する教育を盛り込み、郷土愛をはぐくむ必要がある。
- ・モラルが低下してきており、道德教育の推進が必要。
- ・就業体験、インターンシップによる職業観の醸成が必要。

【地域教育】

- ・行政と学校や家庭が協力した地域の教育力向上の体制づくりが必要。
- ・経験豊富なシニア世代を活用した子どもの教育体制の構築をして欲しい。
- ・地域の教員免許所持者にボランティアで不登校児などの学習支援の体制づくりを望む。

【ボランティア】

- ・ボランティアの意識を高め人材をうまく活用して欲しい。
- ・官民一体となったボランティア活動体制を望む。

【芸術・文化】

- ・茨城が保有する文化・歴史遺産は数多くあるが、掘り起こしが必要。
- ・伝統的な文化・技術・芸能について、しっかり伝承することが必要。

5 その他

- ・自殺防止対策が不十分である。
- ・NPOが自立できるよう運営支援や情報提供を求める。
- ・県のPRは、下手である。PR方法を考えて積極的に行う必要がある。
- ・茨城県出身であることにプライドがもてるような県になって欲しい。